

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ピアノ調律理論Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	ピアノ調律理論Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に勤務後、フリーランスの調律師として活動中。				
<b>授業概要</b>					
グランドピアノを構成する部品の名称、役割を学ぶ。 「調律理論Ⅰ」で学んだ知識を活用し、調律理論(アップライト・グランド)、整調理論(アップライト・グランド)、修理理論、構造理論について学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
それぞれの理論に対する知識の習得。ピアノ調律技能検定試験に出題されるため、合格を目標とする。 仕事の現場において素早く、柔軟な対応が可能な知識の習得。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～2回目	グランドピアノと部品とその動き				
【前期】 3回目	調律理論 ・検査音程 ・下律				
【前期】 4～7回目	整調理論(グランドピアノ)アクション系全24工程の項目について 第1工程:ネジ締め 第2工程:フレンジ点検 第3工程:ハンマー間隔直し 第4工程:ハンマー走り直し 第5工程:ハンマー角度調整 第6工程:弦合わせ 第7工程:鍵盤調整 第8工程:ベディングスクリュー調整 第9工程:鍵盤ならし 第10工程:鍵盤間隔直し 第11工程:白鍵あがき 第12工程:サポート合わせ 第13工程:ジャック前後調整 第14工程:ジャック高さ調整 第15工程:ハンマーならし 第16工程:ハンマー接近 第17工程:ハンマー戻り 第18工程:黒鍵あがき 第19工程:働き調整 第20工程:バックチェック合わせ 第21工程:バックチェックワイヤー曲げ 第22工程:ハンマーストップ 第23工程:レベティションレバースプリング調整 第24工程:アクション系総点検				
【前期】 8～10回目	材料学について ・アッパーブリッジ ・ヒッチピン ・プレッシャーバー ・ハンマーヘッド ・ハンマーシャンク ・ハンマーヘッド ・キャッチャー ・ウイベン ・ジャック ・バックチェック ・プライドルワイヤー ・ダンバースプーン ・ダンパー ・ダンパーストップレール ・ダンパーロッド ・ジャックストップレール ・レギュレチングレール				
【前期】 11～13回目	修理について ・アップライトピアノの張弦 ・バットフレンジコードの交換 ・ハンマーシャンクの修理				
【後期】 14～15回目	張弦キットを使用した張弦方法 1. 張弦キットの張弦方法 2. アップライトピアノの張弦との違いについて 3. ピアノ調律技能検定試験内容の説明				
【後期】 16～18回目	整調理論(アップライト)について ・アップライトピアノの整調、全24工程について ・ピアノに起こる故障と原因について ・故障が起こりやすい箇所、故障の発見				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

## 専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	音楽概論Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	音楽概論Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(単40位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ調律コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	中学音楽講師として7年勤め、現在フリーランスとして活躍中。				
<b>授業概要</b>					
音楽家や作曲家の経歴や作品を研究し、音楽に関する幅広い知識を学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
ピアノ調律技能検定 合格					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～3回目	バロック音楽 ・バッハ ・パッヘルベル				
【前期】 4～6回目	古典派 ・ベートーヴェン ・モーツァルト				
【前期】 7～9回目	ロマン派 ・シューマン ・ショパン ・リスト ・ブラームス ・チャイコフスキー ・ドボルザーク ・スメタナ				
【前期】 10～12回目	ロマン派 ・グリーグ ・シベリウス ・フォーレ ・ドビュッシー ・サティ ・ラベル ・ラフマニノフ ・滝廉太郎 他				
【前期】 13～15回目	現代アーティスト ・世界で活躍するアーティスト				
【前期】 16～18回目	ピアノ調律技能検定 筆記試験対策授業 ・音程、音階について ・作曲家の年代や代表曲について				
【前期】 19～20回目	その他 ・聴音(和音の聴き取り) ・コード進行のルール ・伴奏付け				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

## 専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	調律実技Ⅱ-A		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	調律実技Ⅱ-A	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	228回(456単位時間)	年間単位数	15単位
科目設置コース	ピアノ調律コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの調律、整調、修理、運送などに携わり、現在は委託の調律師として活動中。				
<b>授業概要</b>					
毎日違うピアノ(YAMAHA、KAWAI、アポロのアップライトやYAMAHA、KAWAIのグランド)のブースに入り、調律を行う					
<b>到達目標</b>					
アップライトは1台70分で調律する。「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格 グランドは1台90分以内で仕上げを目標とする。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～2回目	グランドピアノの調律 ・屋根の開け方、鍵盤蓋・譜面台の取り外し方 ・アップライトピアノとの調律方法の違い ・工具の使用方法など				
【前期】 3～29回目	グランドピアノの調律 ・ピッチ採り ・割り振り ・低音、中音、高音のオクターブ調律とユニゾン調律				
【前期】 30～55回目	ピッチ2Hz変更1台				
【前期】 56～80回目	28C～64C 割振・オクターブ調律・ユニゾン調律 70分				
【前期】 81～104回目	442Hzへ2Hz変更 120分 下律…約30分 本調律…約90分				
【前期】 105～114	ピアノ演奏 ・自由曲の選曲 ・練習してきたもののチェック その後 直し ・通しレッスン				
【後期】 115～140	グランドピアノの調律 ・ピッチ採り ・割り振り ・低音、中音、高音のオクターブ調律とユニゾン調律				
【後期】 141～166回目	442Hzへ2Hz変更 100分 下律…約20分 本調律…約80分				
【後期】 167～192回目	4Hz上げ 110分 下律込み。				
【後期】 193～218	ピッチ変更なし 1台70分 本調律のみ。				
【後期】 219～228回目	演奏レッスン ・強弱、表現のレッスン ・テンポ確認のレッスン ・通しレッスン(タイムを計る) ・通しレッスン仕上げ				
評価方法	調律テストの結果、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

## 専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	整調修理実技Ⅱ-A		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	整調修理実技Ⅱ-A	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	150回(300単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	ピアノ調律コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に15年ほど勤め、その後ピアノ調律事務所を独立開業し、現在に至る。				
<b>授業概要</b>					
調律理論Ⅱで学んだ知識をもとに実習(反復練習)を行う。					
<b>到達目標</b>					
総合的な修理、整調(アップライト・グランド)、再生技術の修得。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～25回目	グランドピアノ整調のアクション系全24工程の講義を受けながら、作業の手順や工具の使い方を覚える。				
【前期】 26～50回目	グランドピアノ整調のアクション系24工程2回目。割り振られたセクション(低音・中音・高音)作業。				
【前期】 51～60回目	アップライトピアノの張弦				
【前期】 61～70回目	ハンマーシャンクの修理				
【後期】 71～80	ハンマーシャンクの修理				
【後期】 81～90回目	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて アップライトピアノのアクションモデルを使用しポイントとなる工程の練習				
【後期】 91～100回目	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて 「ピアノ調律技能検定 実技試験」で使用する張弦キットを用いての張弦				
【後期】 101～115回目	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し				
【後期】 116～130回目	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し				
【後期】 131～150回目	1台整調				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ピアノ業界知識Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	ピアノ業界知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	2回(4単位時間)	年間単位数	0単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
<b>授業概要</b>					
楽器業界の企業による製品・技術セミナーやリクルートセミナー					
<b>到達目標</b>					
楽器の専門知識の実践と、実際の応用方法を理解する					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1回目	調律師としてのマナー講座(言葉遣い、身だしなみなど) 現場を想定したシミュレーション				
【後期】 2回目	学期業界の企業による製品・技術セミナー				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	販売実習		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則上表記	販売実習	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
<b>授業概要</b>					
実践的な接客や販売(販売する商品の提案や、当日までの準備、予算内での工夫など)について学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
接客や販売の基本的なスキルを身に着ける。					
<b>授業計画・内容</b>					
【後期】 1~8回目	ESP学園主催イベントでの店舗運営について ・販売する商品の提案 ・予算計画 ・販売するための事前準備 ・売上の目標設定 ・接客体験				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					